



<向陽ミュージアム展示パネルより>

新制期 1945年~1981年

昭和40年代の「向陽高等学校」

昭和41年

・第1校舎新築落成。

昭和42年 ●衛生看護科設置

昭和44年 ●保育科設置

昭和45年

・衛生看護・保育実習室棟新築落成。

昭和46年 インターアクトクラブ
設立

昭和47年

・「烏山英也」副校長就任。
・体育館新築落成。



「烏山英也」副校長



昭和41年 高総体全校応援(大村市陸上競技場)



昭和45年 修学旅行(大阪万博)



昭和46年 インターアクトクラブ認証式(講堂)

昭和50年代の「向陽高等学校」

昭和50年 スクールバス運行開始

昭和52年 ●普通科設置

昭和54年 「創立55周年」

●衛生看護専攻科設置。

・5科完成(被服・商業・衛生看護・保育・普通)。

・「烏山英也」第2代園長就任。

昭和56年

・長崎リハビリテーション学院設立。

・県高総体ソフトボール部優勝(9回)。

昭和57年 新園舎新築落成

・「烏山武」名誉学園長就任。

・同年7月逝去退任。



被服科・商業科・衛生看護科



保育科・普通科・衛生看護専攻科



校章の「たちばな」のように強く、つつましく生きる女性を理想として、職業教育を通じ、勤労と責任、社会に喜びを持って迎えられる善良な人格を涵養する女子教育を行う。

昭和57年「烏山武」名誉学園長就任(同年7月逝去退任、享年79歳)

いち早く「女子教育」の道を拓き、昭和19年大村大空襲、昭和20年終戦、昭和22年から新学制改革を経て、建学の精神「奉仕」の基、一貫した職業教育を行う。(長崎の女子私立高校で5番目開校)